

平成29年度

水防演習

洪水から守ろう みんなの地域

平成29年 **5月28日** 午前9時～正午(小雨決行)

場所 小田原市寿町5丁目地先 酒匂川スポーツ広場(小田原大橋上流)
 主催 神奈川県(県西土木事務所小田原土木センター)
 小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町

演習プログラム

- 9:00 **1 開会式**
- 9:20 **2 演習開始**
 - 1 演習想定提示
 - 2 初期水防活動(情報伝達訓練、消防団出動)
- 9:49 **3 水防工法演習**

(小田原市・大井町・松田町・箱根町・真鶴町・湯河原町消防団、(一社)湘南建設業協会、小田原市土木建設協同組合、西さがみ建設協同組合、神奈川県県土整備局)

 - ・準備工法(土のう拵え、杭拵え、大型土のう拵え)
 - ・洗掘防止工法(木流し、シート張り、T型マット張り)
 - ・決壊防止工法(四つ枠、根固めブロック)
 - ・越水防止工法(積み土のう、鋼板積み土のう、大型土のう積み)
- 10:02 **4 避難訓練(住民避難・誘導)**

(小田原市、小田原市自主防災組織(自治会)、小田原警察署)
- 10:31 **5 広域情報収集訓練(現地上空からの情報収集)**

(神奈川県警察本部)
- 10:55 **6 救出・救助訓練(被災者の救助)**

(小田原市消防本部、横浜市消防局、陸上自衛隊、神奈川県警察本部)
- 11:27 **7 ライフライン復旧訓練(電力復旧・通信復旧)**

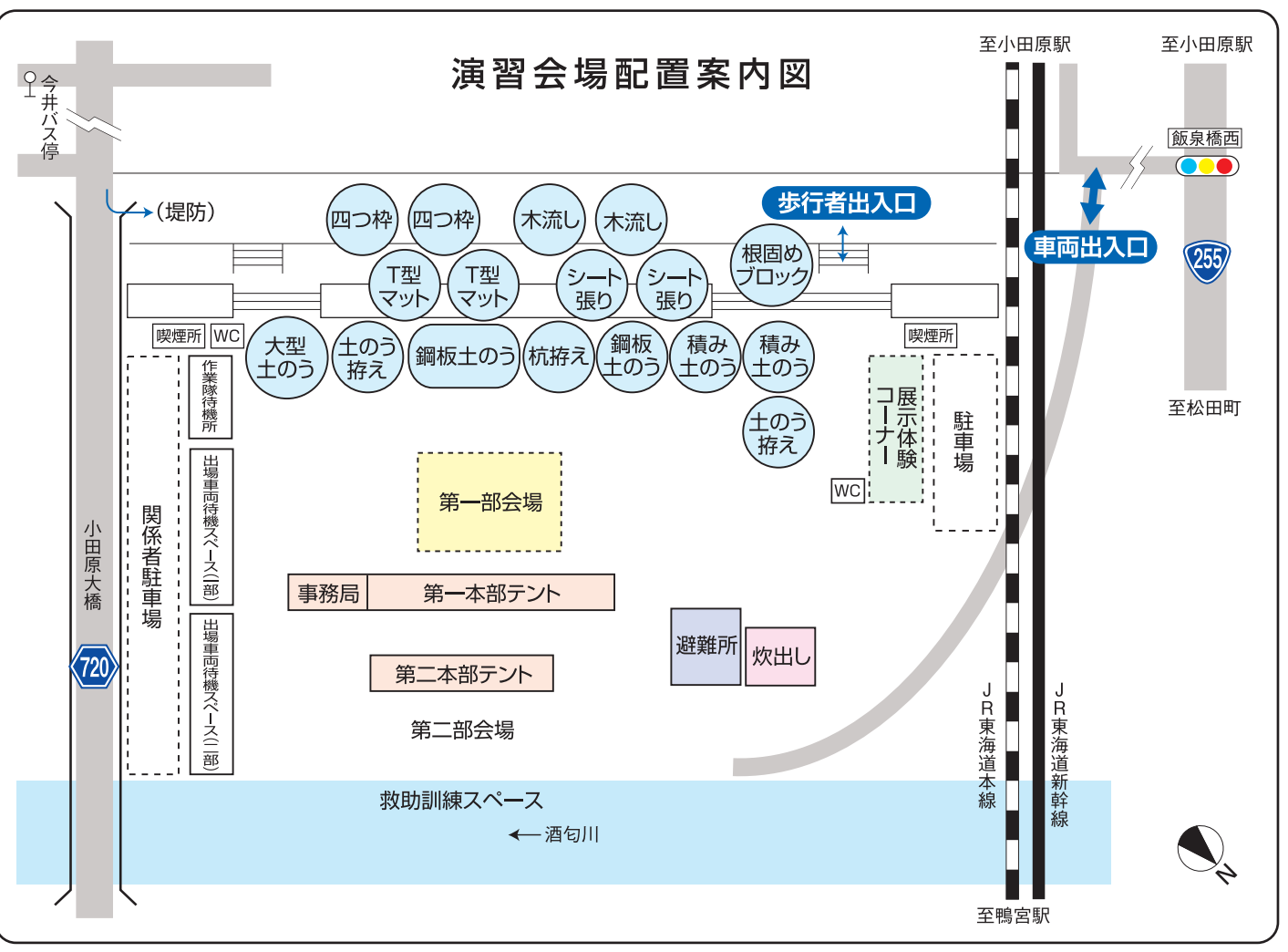
(東京電力パワーグリッド(株)小田原支社、東日本電信電話(株)神奈川県事業部、(株)ドコモCS神奈川支店)
- 11:45 **8 水防警報解除**
- 11:55 **3 閉会式**

展示・体験コーナー

- 自然災害体験車、降雨体験車の展示・体験乗車
(国土交通省京浜河川事務所)
- 自走架柱橋、災害対策車両、消防車両、資機材等の展示
(小田原市消防本部、陸上自衛隊、神奈川県警察本部)
- 災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板サービス、停電時等の分電盤シミュレーションの体験、土のう拵え・ロープ結索・消火体験
(小田原市消防本部、東京電力パワーグリッド(株)小田原支社、東日本電信電話(株)神奈川県事業部、(株)ドコモCS神奈川支店)
- パネル展示
(神奈川県警察本部、神奈川県内広域水道企業団、神奈川県)
- 炊き出し訓練
(陸上自衛隊)
- 炊き出し(カレーライス300食分)
(陸上自衛隊)

当日6時現在で足柄上、西湘エリアのいずれかに大雨または洪水注意報等が発表されている場合は水防演習を中止します。
 ※足柄上エリア:南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町 西湘エリア:小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町

演習会場配置案内図



小田原駅東口 バス1番乗り場 城東車庫行き 今井バス停下車 徒歩5分

演習参加機関

神奈川県	県土整備局の関係室課、各土木事務所、治水事務所、各センター及び三保ダム管理事務所
小田原市	防災対策課、消防本部、消防団、自主防災組織
大井町	消防団
松田町	消防団
箱根町	総務防災課、消防本部、消防団
真鶴町	総務課、消防団
湯河原町	地域政策課、消防本部、消防団
横浜市	消防局
国土交通省	京浜河川事務所
陸上自衛隊	第31普通科連隊、第1高射特科大隊、第4施設群
神奈川県警察	警察本部地域部地域総務課航空隊、警察本部警備部危機管理対策課、第二機動隊広域緊急援助隊特別救助班、小田原警察署
神奈川県内広域水道企業団	総務課、飯泉取水管理事務所
民間機関	東京電力パワーグリッド(株)小田原支社、東日本電信電話(株)神奈川県事業部、(株)ドコモCS神奈川支店、(一社)湘南建設業協会、小田原市土木建設協同組合、西さがみ建設協同組合

●お問合せ

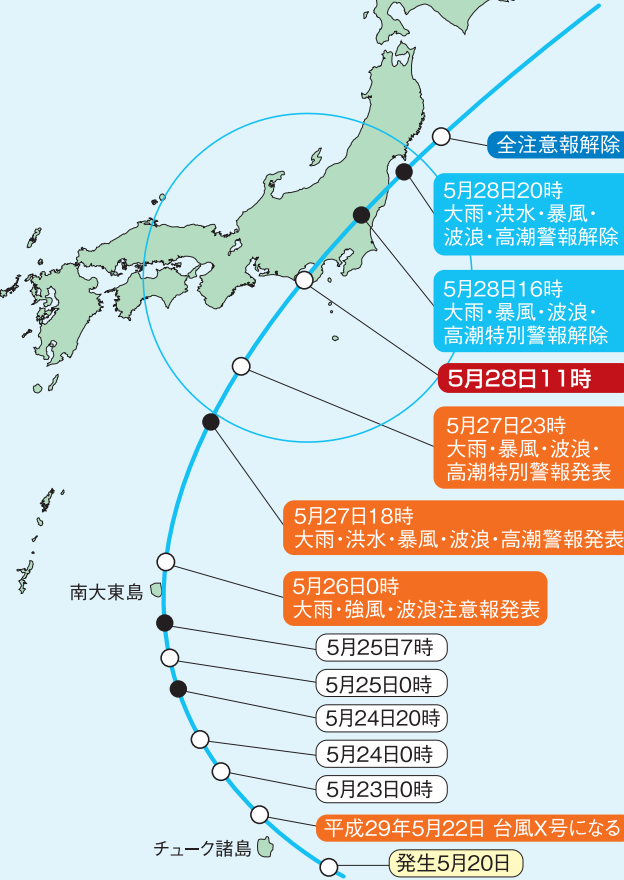
事務局:神奈川県県西土木事務所小田原土木センター

〒250-0003 神奈川県小田原市東町5-2-58

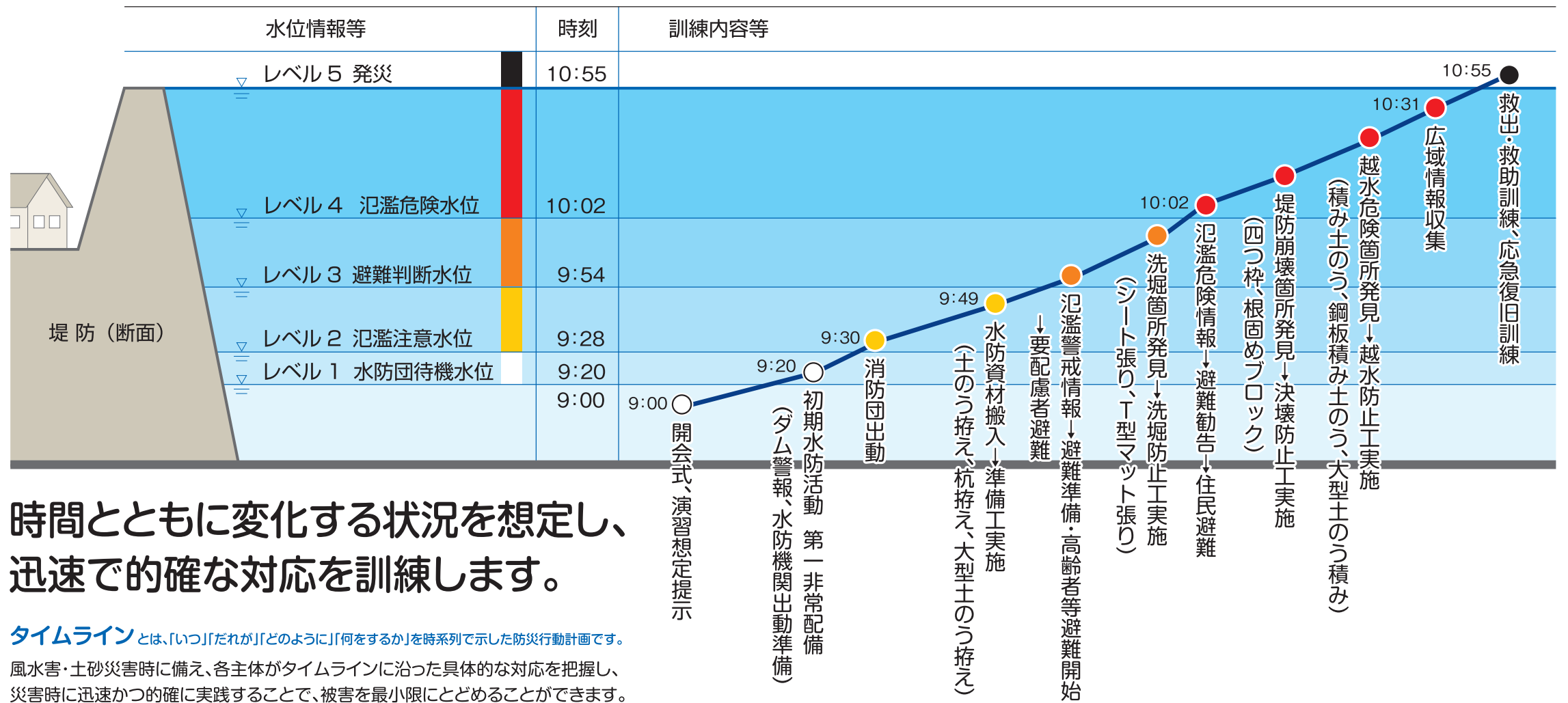
代表電話0465-34-4141(代表) ファクシミリ0465-35-9247 <http://www.pref.kanagawa.jp/div/1914/>

想定台風X号進路図

中心付近の最大風速60m/sec、
15m/sec以上の強風域
半径500km



タイムライン(防災行動計画)に沿った演習の流れ



時間とともに変化する状況を想定し、
迅速で的確な対応を訓練します。

タイムラインとは、「いつ」「だれが」「どのように」「何をするか」を時系列で示した防災行動計画です。
風水害・土砂災害時に備え、各主体がタイムラインに沿った具体的な対応を把握し、
災害時に迅速かつ的確に実践することで、被害を最小限にとどめることができます。

訓練内容の紹介

地域で昔から行われてきた
伝統的な水防技術から重機
などを用いた近代的な工法
まで、知識や技術を高めるた
め、さまざまな水防工法の演
習を行います。

準備工法

土のう拵え

水防工法の基本である土のうを作る作業です。

大型土のう拵え

ショベルカーを使って大きな土のうを作る作業です。

杭拵え

水防工法で多く使用される杭の先端をとがらせる作業です。



洗掘防止工法

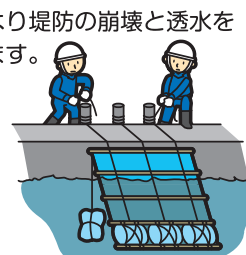
木流し工法

堤防を掘ろうとする水の勢いを弱めるために、樹木に重しになる土のうを結びつけ、川の中に入れます。



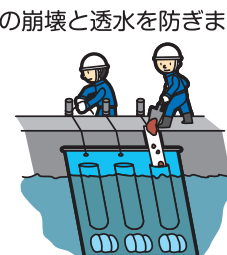
シート張り工法

竹で補強した防水シートに、重しになる土のうをつけ、堤防から川表を覆うように広げながら川の中に入れます。これにより堤防の崩壊と透水を防ぎます。



T型マット張り工法

重しになる土のうを備えた特殊なマットを、堤防から川表を覆うように広げながら川の中に入れます。これにより堤防の崩壊と透水を防ぎます。



決壊防止工法

四つ枠工法

流水の勢いを緩和し、堤防の崩壊を防止するために、ピラミッド型に組んだ丸太の底部に重しになる蛇籠を乗せて川底に沈めます。



根固めブロック工法

堤防の決壊を防ぐため、根固めブロックを護岸や河床に迅速に設置します。



越水防止工法

積み土のう工法

堤防に土のうを並べ、さらに杭で土のうを串刺しにし、洪水が堤防を越えないようにします。



鋼板積み土のう工法

パイプで支えながら、軽量鋼板を二列、堤防に打ち込み、囲いをつくります。その中に土のうと土砂を交互に詰めて、洪水が堤防を越えないようにします。



山々と河川に恵まれた日本の国土。しかし昔から台風や集中豪雨の時期には、河川の氾濫などの水害に悩まされてきました。近年では局地的豪雨によって河川流域に限らず水害が多発しています。各機関や住民が一体で行う訓練によって、各主体、ひとりひとりの水防への意識と理解の向上を図ってまいります。

救出・救助訓練

河川の増水で中州に取り残された被災者の救助訓練を行います。



避難誘導訓練

河川が増水し、越水の恐れがあるとの想定で、警察署のパトロールカー・巡視車が先導し、住民の避難・誘導を行います。



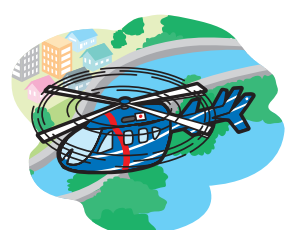
ライフライン復旧訓練

河川の氾濫により、避難所が停電し電話も不通という想定で、電力・通信などライフラインの応急復旧訓練を行います。



広域情報収集訓練

県警本部の航空隊により、ヘリコプターなどを駆使して、現場上空からの情報収集を行います。



水防警報解除

各方面の安全を確認し、警報を解除します。

